

2021年1月13日

報道関係各位

株式会社 OKB総研

## 第23回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

OKBグループのシンクタンク株式会社 OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳)は、  
標題のアンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

### 《要約》

#### 1. 主婦の景況感は、リーマン・ショック以来の低水準。

- ・景況D.I.（「良くなった」の回答率－「悪くなった」の回答率）は▲68.5。  
前回調査（2019年11月）から大きく落ち込み、リーマン・ショック以来の低水準となった。

#### 2. コロナ禍で保健医療費（マスク・消毒液など含む）が急増、巣ごもりで 光熱・水道費も増加。レジャー費や外食費、交際費は外出自粛で急減。

- ・支出が増えた費目では、マスクや消毒液などを含む「保健医療費」（53.6%）が前回から  
33.3ポイント伸びてトップに。「光熱・水道費」（40.1%）も前回から9.3ポイント上昇。
- ・支出が減った費目では、「レジャー費」（65.2%）、「外食費」（44.1%）、「交際費」（23.9%）が  
前回から2ケタ以上の上昇となった。

#### 3. 複合型SC・コンビニの利用が減少、通信販売・ドラッグストアは増加。

- ・買物場所の年間平均利用回数は、11業態のうち7業態で減少。特に「複合型SC」は  
6.8回減（年間18.8回）、「コンビニエンスストア」は5.9回減（同66.2回）となった。
- ・「通信販売」は5.5回増（年間21.0回）、「ドラッグストア」は4.5回増（同57.7回）  
となった。

### 【調査概要】

1. 調査期間：2020年11月9日～11月13日（年1回）
2. 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店（東京・大阪を除く）に来訪した主婦<sup>(注)</sup>805名に  
アンケート用紙を配布・回収（無記名方式）
3. 有効回答者数：791名（有効回答率 98.3%）

4. 回答者属性：

年代	20歳代	6.2%
	30歳代	19.2%
	40歳代	24.7%
	50歳代	29.8%
	60歳以上	20.1%
住所	岐阜県	54.9%
	愛知県	40.5%
	三重県	2.3%
	滋賀県	2.0%
	その他	0.4%
就業 形態	専業主婦	12.6%
	正社員・公務員・自営業	44.9%
	パートタイマー	39.8%
	内職・その他	2.7%

5. 集計結果表記：数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

(注) 本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 梅木 TEL 052-564-1520 FAX 052-564-1528】

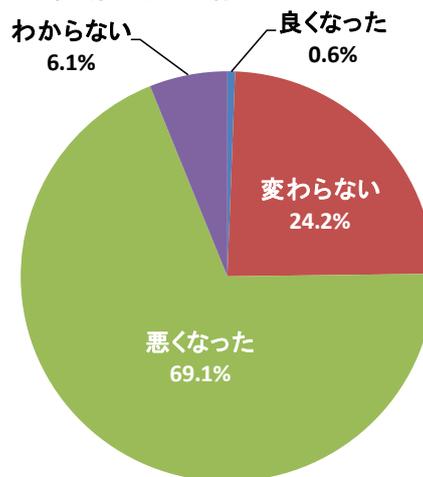
# 1. 主婦の景況感

「現在（2020年）の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の0.6%、「変わらない」が24.2%、「悪くなった」が69.1%となった（図表1）。

年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性において「悪くなった」の回答率が前回調査（2019年11月）から大幅に上昇した（図表2）。

景況D.I.（「良くなった」の回答率－「悪くなった」の回答率）は▲68.5。前回から40.5ポイント低下し、2008年のリーマン・ショック以来の低水準となった（図表3）。

図表1 主婦の景況感（全体）



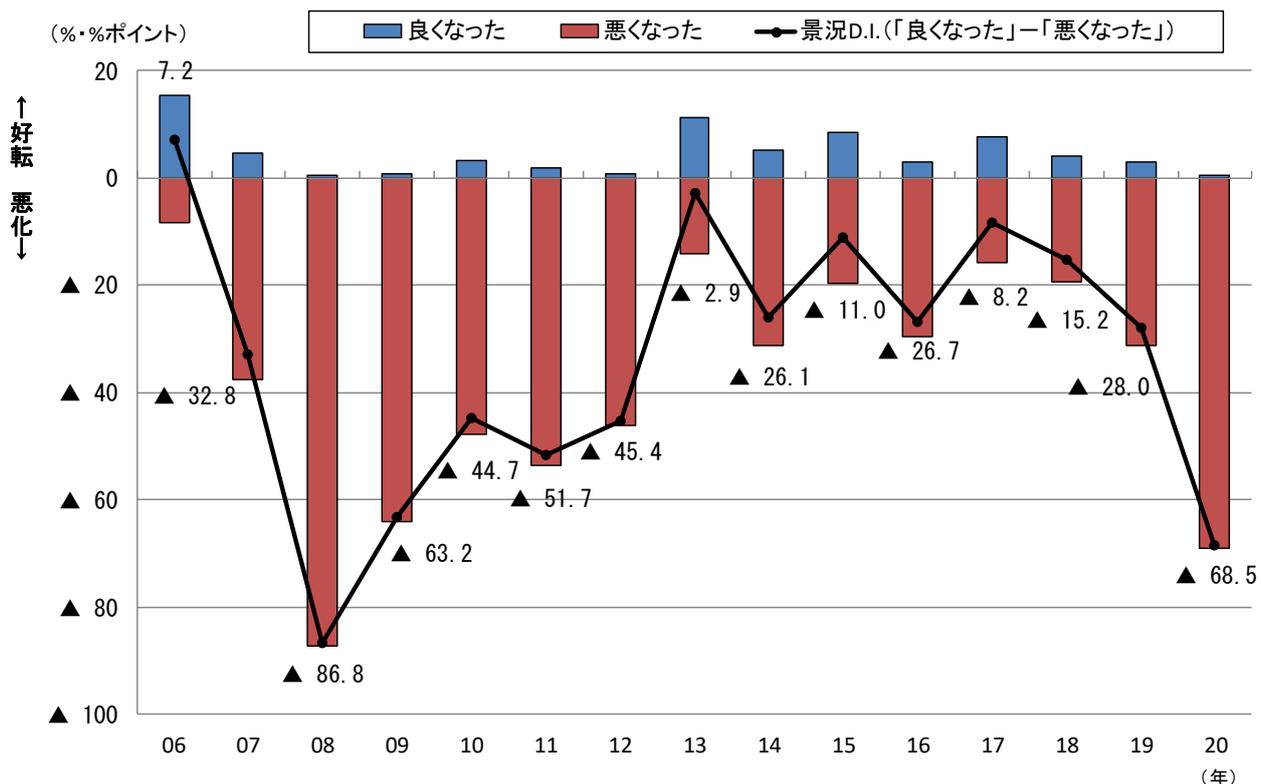
図表2 主婦の景況感（属性別）

(%・%ポイント)

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	0.6 (▲2.5)	24.2 (▲33.7)	69.1 (38.0)	6.1 (▲1.8)
20歳代	4.1 (▲0.7)	24.5 (▲49.3)	59.2 (49.7)	12.2 (0.3)
30歳代	0.7 (▲4.0)	27.0 (▲34.7)	68.4 (45.7)	3.9 (▲7.0)
40歳代	0.5 (▲3.0)	22.6 (▲39.0)	70.3 (45.0)	6.7 (▲2.9)
50歳代	0.4 (▲1.7)	25.4 (▲31.8)	70.8 (36.1)	3.4 (▲2.5)
60歳以上	0.0 (▲2.4)	21.5 (▲26.1)	69.0 (24.3)	9.5 (4.2)
岐阜県	0.7 (▲2.3)	26.1 (▲32.8)	67.0 (35.7)	6.2 (▲0.7)
愛知県	0.6 (▲2.6)	22.2 (▲34.1)	72.5 (40.8)	4.7 (▲4.0)
専業主婦	0.0 (0.0)	25.0 (▲35.0)	62.0 (31.4)	13.0 (3.6)
正社員等	1.1 (▲3.6)	23.2 (▲32.0)	70.1 (37.7)	5.6 (▲2.1)
パート	0.3 (▲2.0)	24.4 (▲36.7)	70.5 (41.3)	4.8 (▲2.5)

(注)括弧内は、前回差を示す。

図表3 主婦の景況D.I.の推移



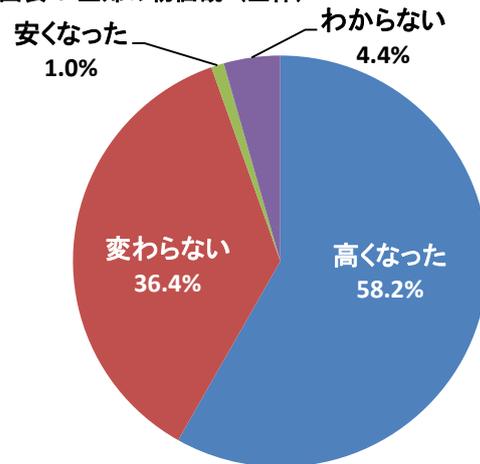
## 2. 主婦の物価観

「現在（2020年）の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の58.2%、「変わらない」が36.4%、「安くなった」が1.0%となった（図表4）。

年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性において「高くなった」の回答率が前回から低下した（図表5）。

物価D.I.（「高くなった」の回答率－「安くなった」の回答率）は57.2。前回から12.4ポイント低下した（図表6）。

図表4 主婦の物価観（全体）

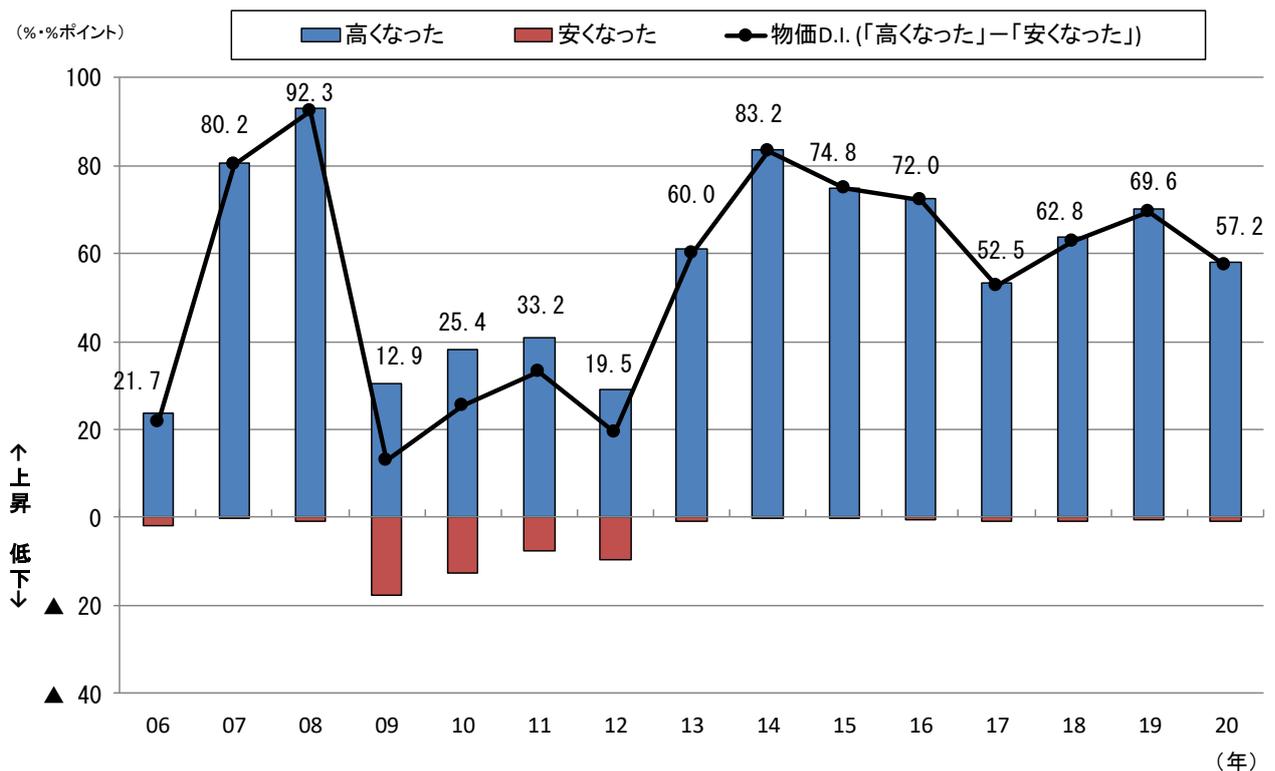


図表5 主婦の物価観（属性別）

	(%・%ポイント)			
	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	58.2 (▲ 11.8)	36.4 (10.0)	1.0 (0.6)	4.4 (1.2)
20歳代	61.2 (▲ 3.1)	28.6 (▲ 2.4)	0.0 (0.0)	10.2 (5.4)
30歳代	55.9 (▲ 12.9)	37.5 (8.6)	0.7 (0.7)	5.9 (3.6)
40歳代	62.6 (▲ 9.8)	33.8 (10.2)	0.5 (0.5)	3.1 (▲ 0.9)
50歳代	56.4 (▲ 9.7)	38.6 (9.4)	1.3 (0.5)	3.8 (0.0)
60歳以上	56.6 (▲ 18.3)	37.7 (14.9)	1.9 (1.3)	3.8 (2.0)
岐阜県	58.1 (▲ 11.9)	35.7 (8.7)	1.2 (1.0)	5.1 (2.4)
愛知県	58.4 (▲ 13.1)	37.5 (12.9)	0.9 (0.3)	3.1 (▲ 0.1)
専業主婦	53.0 (▲ 19.9)	41.0 (16.3)	0.0 (0.0)	6.0 (3.6)
正社員等	56.6 (▲ 9.6)	36.1 (6.4)	1.1 (0.6)	6.2 (2.6)
パート	61.6 (▲ 12.6)	34.9 (12.1)	1.3 (1.0)	2.2 (▲ 0.4)

(注)括弧内は、前回差を示す。

図表6 主婦の物価D.I.の推移



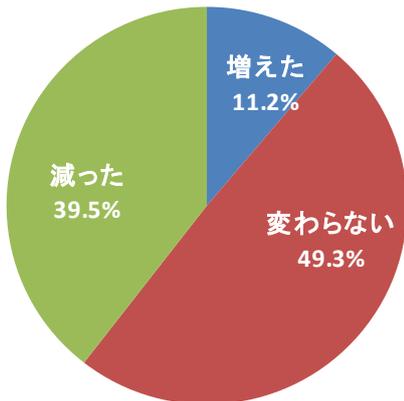
### 3. 家計の収支動向

#### (1) 家計の収入

「2020年の家計収入は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の11.2%、「変わらない」が49.3%、「減った」が39.5%となった（図表7）。前回と比べて「減った」が12.9ポイント上昇した。

年代・住所・就業形態別に見ると、20歳代と60歳以上、専業主婦を除く属性において「減った」が前回差+10ポイント超となっている（図表8）。

図表7 家計収入（全体）



図表8 家計収入（属性別）

	(%・%ポイント)		
	増えた	変わらない	減った
全体	11.2 (▲ 6.9)	49.3 (▲ 6.0)	39.5 (12.9)
20歳代	36.7 (10.5)	49.0 (▲ 10.5)	14.3 (0.0)
30歳代	23.2 (▲ 11.2)	48.3 (▲ 2.5)	28.5 (13.7)
40歳代	8.2 (▲ 15.9)	44.6 (▲ 11.2)	47.2 (27.1)
50歳代	5.1 (▲ 4.6)	49.6 (▲ 10.1)	45.3 (14.8)
60歳以上	4.5 (▲ 3.8)	55.8 (4.9)	39.7 (▲ 1.1)
岐阜県	9.7 (▲ 8.2)	51.5 (▲ 3.0)	38.7 (11.1)
愛知県	13.8 (▲ 4.6)	47.6 (▲ 8.4)	38.6 (13.0)
専業主婦	6.1 (▲ 3.4)	53.1 (4.3)	40.8 (▲ 0.9)
正社員等	14.7 (▲ 6.7)	48.6 (▲ 9.1)	36.7 (15.8)
パート	9.2 (▲ 7.4)	49.5 (▲ 4.7)	41.3 (12.1)

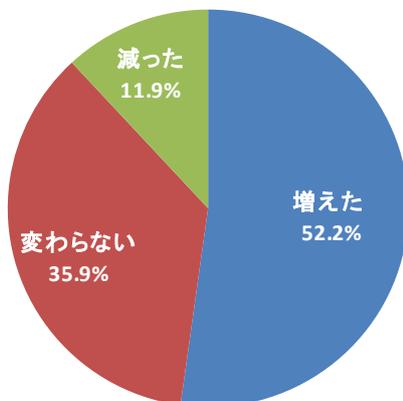
(注) 括弧内は、前回差を示す。

#### (2) 家計の支出

「2020年の家計支出は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の52.2%、「変わらない」が35.9%、「減った」が11.9%となった（図表9）。前回と比べて「増えた」が8.0ポイント低下した。

年代・住所・就業形態別に見ると、専業主婦を除く全ての属性において「増えた」の回答率が前回から低下した（図表10）。

図表9 家計支出（全体）



図表10 家計支出（属性別）

	(%・%ポイント)		
	増えた	変わらない	減った
全体	52.2 (▲ 8.0)	35.9 (3.6)	11.9 (4.4)
20歳代	49.0 (▲ 10.5)	30.6 (▲ 2.7)	20.4 (13.3)
30歳代	57.0 (▲ 1.6)	30.5 (▲ 7.0)	12.6 (8.7)
40歳代	60.5 (▲ 13.4)	30.3 (5.7)	9.2 (7.7)
50歳代	47.9 (▲ 8.5)	39.0 (6.8)	13.1 (1.7)
60歳以上	44.6 (▲ 6.3)	45.2 (7.9)	10.2 (▲ 1.6)
岐阜県	52.3 (▲ 10.9)	36.6 (6.3)	11.1 (4.7)
愛知県	51.7 (▲ 5.3)	35.4 (1.7)	12.9 (3.5)
専業主婦	54.1 (2.9)	38.8 (4.3)	7.1 (▲ 7.2)
正社員等	48.6 (▲ 9.6)	39.3 (4.4)	12.1 (5.2)
パート	55.9 (▲ 9.2)	30.8 (2.6)	13.3 (6.7)

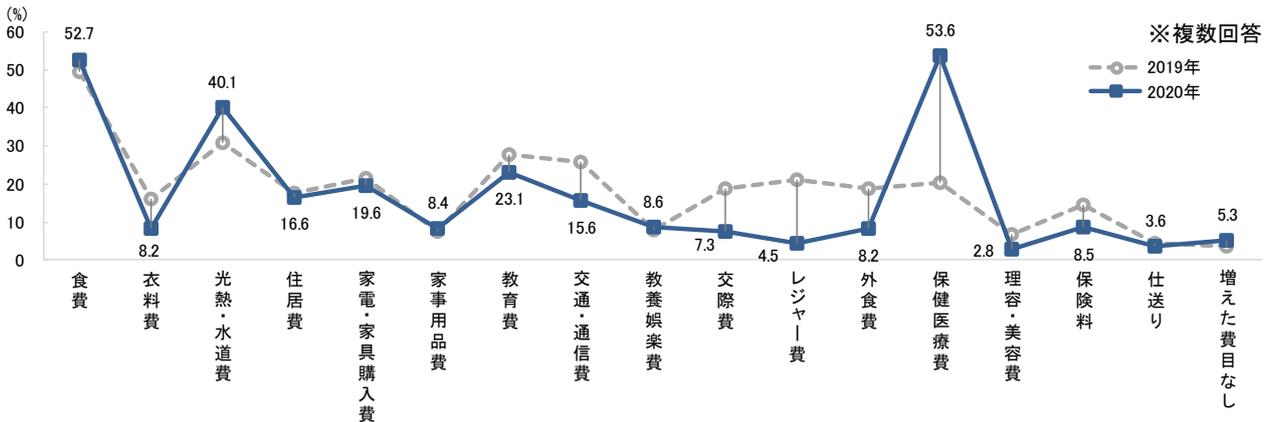
(注) 括弧内は、前回差を示す。

### (3) 支出が増えた費目

「2020年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が増えた費目は何ですか（あてはまるもの全て選択）」と尋ねたところ、コロナ禍でマスク・消毒液などを含む「保健医療費」が前回から 33.3 ポイント伸び、53.6%でトップとなった。2位は「食費」で52.7%、3位は「光熱・水道費」で40.1%だった。「光熱・水道費」に関しては前回差+9.3ポイントで「保健医療費」に次ぐ上昇幅となった。外出自粛による在宅時間の増加などが要因と考えられる（図表11）。

年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性で「保健医療費」と「光熱・水道費」が前回から上昇した（図表12）。

図表11 支出が増えた費目(全体)



(注)数字は2020年の回答率

図表12 支出が増えた費目(上位5費目、属性別)

※複数回答 (%・%ポイント)

	保健医療費	食費	光熱・水道費	教育費	家電・家具購入費
全体	53.6 (33.3)	52.7 (3.4)	40.1 (9.3)	23.1 (▲ 4.5)	19.6 (▲ 2.0)
20歳代	44.9 (33.0)	59.2 (▲ 5.1)	34.7 (10.9)	10.2 (5.4)	14.3 (2.4)
30歳代	48.7 (43.1)	64.7 (▲ 4.9)	40.7 (14.3)	30.7 (▲ 21.3)	15.3 (▲ 3.9)
40歳代	54.9 (41.1)	59.1 (13.7)	44.6 (15.0)	50.8 (▲ 2.8)	20.2 (▲ 1.7)
50歳代	57.4 (33.8)	41.3 (0.1)	35.7 (5.7)	12.2 (▲ 1.5)	21.7 (▲ 3.2)
60歳以上	53.9 (17.3)	48.1 (1.8)	42.2 (3.8)	1.3 (▲ 2.4)	21.4 (0.7)
岐阜県	53.8 (32.7)	53.1 (3.7)	40.1 (5.7)	21.1 (▲ 8.4)	19.5 (0.3)
愛知県	49.8 (30.3)	53.4 (3.9)	41.2 (14.5)	24.3 (▲ 1.4)	21.1 (▲ 3.7)
専業主婦	52.1 (28.6)	56.3 (8.2)	38.5 (3.9)	13.5 (▲ 10.0)	20.8 (▲ 1.4)
正社員等	51.0 (32.7)	53.9 (4.2)	37.0 (10.3)	20.1 (▲ 4.3)	19.2 (▲ 2.7)
パート	56.1 (34.6)	50.6 (1.3)	44.8 (10.6)	30.0 (▲ 3.2)	20.6 (▲ 0.9)

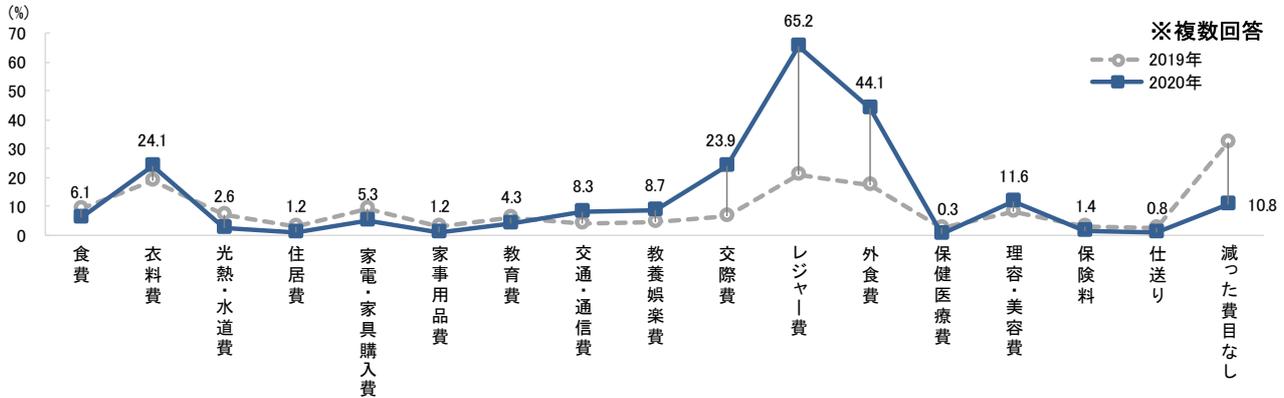
(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2) 括弧内は、前回差を示す。

#### (4) 支出が減った費目

「2020年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が減った費目は何ですか（あてはまるもの全て選択）」と尋ねたところ、トップは「レジャー費」で65.2%、2位は「外食費」で44.1%、3位は「衣料費」で24.1%であった。特に「レジャー費」と「外食費」、「交際費」が前回から2ケタ以上伸びており、コロナ禍による外出自粛などの影響が顕著に表れた（図表13、14）。

図表13 支出が減った費目(全体)



(注)数字は2020年の回答率

図表14 支出が減った費目(上位5費目、属性別)

※複数回答 (%・%ポイント)

	レジャー費	外食費	衣料費	交際費	美容・美容費
全体	65.2 (44.1)	44.1 (26.8)	24.1 (5.3)	23.9 (17.1)	11.6 (3.3)
20歳代	64.6 (45.1)	43.8 (24.3)	25.0 (0.6)	25.0 (17.7)	12.5 (7.6)
30歳代	73.3 (60.8)	46.0 (31.8)	12.0 (0.3)	26.7 (20.9)	16.0 (7.7)
40歳代	69.1 (44.4)	43.5 (22.4)	19.4 (8.9)	18.3 (13.0)	9.4 (4.1)
50歳代	62.4 (42.9)	45.0 (29.8)	29.3 (8.1)	23.1 (16.6)	10.9 (2.2)
60歳以上	56.4 (30.1)	41.6 (23.8)	34.2 (4.6)	28.9 (19.0)	10.7 (▲1.8)
岐阜県	63.1 (39.6)	43.8 (24.7)	27.4 (9.1)	24.3 (17.7)	11.9 (2.4)
愛知県	67.7 (48.8)	43.2 (28.0)	21.0 (1.1)	23.5 (16.7)	11.3 (4.2)
専業主婦	65.9 (40.9)	47.3 (34.8)	22.0 (3.2)	28.6 (22.3)	12.1 (0.8)
正社員等	65.4 (47.2)	41.6 (24.9)	24.1 (4.2)	25.9 (17.7)	12.2 (4.3)
パート	65.9 (42.8)	47.3 (27.3)	24.8 (8.6)	20.6 (15.4)	11.3 (3.7)

(注1)網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2)括弧内は、前回差を示す。

#### 4. 主婦の買物場所

「買物場所11業態における利用頻度をお答え下さい」とお尋ねしたところ、主婦が最もよく利用する店は従来通り「スーパー」で、年間133.7回(およそ2.7日に1度の利用頻度)であった。次いで「コンビニエンスストア」が66.2回(5.5日に1度)、「ドラッグストア」が57.7回(6.3日に1度)となっている。11業態のうち7業態で年間平均利用回数が前回から減少し、特に「複合型SC」は6.8回減、「コンビニエンスストア」は5.9回減と目立つ。

一方、「通信販売」は平均利用回数が前回から5.5回増加して年間21.0回(17.3日に1度)となった。また、「ドラッグストア」は前回から4.5回増加して年間57.7回(6.3日に1度)となった(図表15)。

図表15 買物場所の年間平均利用回数

(単位「利用頻度」を除く：回/年)

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	ディスカウントストア	通信販売	複合型SC	100円ショップ	ホームセンター	商店街	百貨店	家電量販店
全体	133.7 (▲2.7)	66.2 (▲5.9)	57.7 (4.5)	21.3 (▲1.4)	21.0 (5.5)	18.8 (▲6.8)	16.6 (0.6)	14.6 (▲0.8)	7.4 (▲0.4)	4.8 (▲1.9)	3.5 (0.0)
20歳代	91.0 (2.9)	104.2 (29.0)	43.1 (3.1)	29.3 (1.5)	41.2 (35.7)	23.6 (2.7)	18.8 (5.3)	10.1 (▲5.2)	1.7 (▲0.2)	6.6 (▲0.3)	4.4 (1.3)
30歳代	101.7 (▲2.5)	81.7 (▲21.1)	58.6 (2.5)	17.7 (▲0.8)	31.6 (19.6)	16.2 (▲12.1)	18.0 (▲0.8)	11.8 (▲14.0)	2.1 (0.8)	4.3 (▲0.5)	3.3 (▲0.4)
40歳代	143.8 (▲2.5)	69.9 (▲9.8)	71.7 (9.2)	28.4 (▲3.9)	19.8 (6.2)	19.7 (▲5.2)	18.2 (2.7)	13.6 (▲2.6)	2.9 (0.1)	3.4 (▲1.2)	4.5 (0.4)
50歳代	147.5 (11.0)	52.8 (▲7.9)	47.2 (▲3.5)	17.4 (▲4.5)	17.8 (▲1.7)	21.2 (▲8.1)	13.8 (▲1.9)	14.4 (0.8)	6.2 (▲0.8)	4.2 (▲1.5)	3.3 (0.1)
60歳以上	144.4 (▲17.0)	53.9 (0.1)	60.5 (14.3)	19.1 (5.8)	11.0 (▲6.9)	14.8 (▲4.9)	17.0 (1.8)	20.6 (12.6)	21.9 (▲0.3)	8.7 (▲2.7)	2.6 (▲0.2)
岐阜県	128.1 (▲7.7)	56.8 (▲8.8)	63.0 (4.5)	24.5 (▲2.0)	18.9 (1.8)	20.3 (▲3.8)	17.6 (2.0)	16.0 (3.1)	9.2 (3.0)	2.6 (▲1.6)	3.6 (0.1)
愛知県	142.0 (5.9)	81.1 (0.3)	52.4 (5.8)	18.6 (1.4)	25.7 (12.6)	17.7 (▲10.0)	15.4 (▲0.7)	13.1 (▲4.8)	5.1 (▲4.8)	8.4 (▲1.3)	3.6 (0.2)
専業主婦	150.5 (▲0.5)	55.1 (▲5.9)	60.8 (14.7)	25.0 (5.9)	20.2 (5.4)	20.2 (▲8.8)	15.3 (▲3.7)	16.7 (4.9)	9.5 (▲4.9)	10.7 (▲3.8)	2.5 (▲1.0)
正社員等	121.2 (▲7.3)	79.9 (▲7.9)	55.2 (1.1)	19.4 (▲1.1)	24.3 (6.6)	18.8 (▲6.0)	15.4 (1.6)	14.8 (▲5.8)	8.1 (▲0.7)	5.7 (▲1.0)	3.6 (0.4)
パート	141.8 (▲0.9)	56.1 (▲1.7)	58.5 (2.9)	23.0 (▲3.9)	18.6 (5.0)	18.6 (▲7.5)	18.3 (0.5)	13.5 (2.9)	6.1 (1.6)	2.7 (▲1.3)	3.8 (▲0.1)
利用頻度(注1)	2.7 (0.0)	5.5 (0.4)	6.3 (▲0.6)	17.1 (1.1)	17.3 (▲6.3)	19.4 (5.1)	22.0 (▲0.8)	25.0 (1.3)	49.1 (2.2)	75.4 (20.6)	103.0 (▲2.0)

(注1)「利用頻度」とは、「全体」において、それぞれの業態を訪れる間隔を日数単位で表したものを示す。スーパーであれば2.7日に1度利用するの意味。

(注2)括弧の中の数字は、前回調査結果との差を示す。